

日時	タイトル名	場所・座席	料金	チケット 発売場所	未就 学児
7/12 (日) 開演14:00 (開場13:30)	第88回 日本音楽コンクール 受賞者発表演奏会 大和郡山公演	大ホール 全席指定	前売・当日とも 一般:2,000円 学生(小・中・高・大学) 1,000円	発売中 [ホ]	×

「第88回日本音楽コンクール」の受賞者4人による演奏会です。このコンクールはクラシック界の登竜門として知られ、これまで数多くの有望な新人音楽家を世に送り出しました。世界へとはばたこうとしている若き音楽家たちの演奏を是非お聴きください。
出演:山本英(フルート3位・岩谷賞)、小川菜奈(声楽2位・岩谷賞)、東亮汰(バイオリン1位)、亀井聖矢(ピアノ1位・岩谷賞など)

※チケット欄の記号=発売場所 [ホ]:やまと郡山城ホール窓口



市長てくてく城下町 179

『スマホで「こくちょう」(国勢調査)!!』

大和郡長 上田 清

今からちょうど100年前、大正9(1920)年10月1日に実施された第1回国勢調査のポスターには「正直に有の儘を書いて下さい

全く書けない人は書いて上ます」という言葉が。親切なのか、おせっかいなのか・・・。

アメリカの第1回センサス(もとは古代ローマで行われた人口登録調査のこと。今は国勢調査のほか工業や農業センサスなど大規模な全数調査のことを指す)から130年後のことでした。

国勢調査の構想は早くからありましたが、戦争などで遅れ、この年ようやく実現したのです。

調査日については天候や気温、さらには農家の農繁期を考慮し、10月1日と決定されました。

一方、明治以降戸籍があるのだから調査は不要だという意見も根強くありましたが、第1回調査では戸籍人口5792万人に対し国勢調査人口は5596万人と、約200万人もの差が出たのです。

予算の配分など国や地方の政治を進める上で、非常に大きな意味を持つ数字でした。

大正9年、それは第一次世界大戦後の好景気が一転し戦後恐慌が始まる一方、スペイン風邪の大流行がようやく落ち着きを見せ始めたころです。

それから100年。第21回国勢調査の今年、私たちは新たなウイルスとの闘いに直面していますが、人間はこうした試練を繰り返し乗り越えてきたことをあらためて感じているところです。

時代は変わりました。平成22年からインター

ネット回答方式が導入され、前回平成27年からはスマホによる回答もできるようになりました。

本市のインターネット利用は46.1%(うちスマホ14.6%)で奈良県の45.2%を上回っていますが、調査員のご負担を軽減するためにも、スマホなどによる回答にご協力をいただければ幸いです。

国の未来、私たちの未来につながる基本統計です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

